

ロベルト酒井の

南十字の空から

ブラジル通信 No. 19

平成 26 年 9 月 23 日～9 月 26 日

(平成 26 年度 第 4 号)

発行者 豊橋市教育委員会

酒井 憲一

教育提携都市 パラナヴァイ市へ

9 月 9 日の入国審査を済ませたサンパウロ市から約 1000km 移動して、ついにパラナヴァイ市に到着しました。

人口 8 万人の小さな町ですが、見るもの、会う人すべてが懐かしく、「第二の故郷」と思える町です。ここで約 2 ヶ月間滞在しますが、教育提携に基づいた有意義な活動を展開しようと思っています。



パラナヴァイの町並み

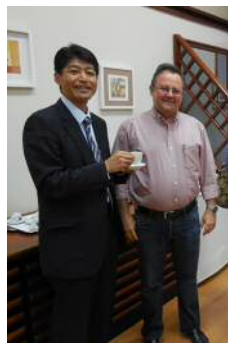
パラナヴァイ市長、市教育局長 表敬訪問

パラナヴァイ市のロレンゼッチ市長を表敬訪問しました。昨年引き続きの出会いとなるため、今回は「旧知の友との再会」という雰囲気でも和やかに懇談できました。

市長に「豊橋のためなら、あなたのためなら何でも力になる。」と言っていただきました。教育分野の話になると、「パラナヴァイ市と豊橋市では、教育関係者の『大人』が交流している。いずれは、15 歳前後の子どもたちを 2 週間～1 ヶ月お互いの都市

に滞在して、『子ども』の交流を推進してはどうか。」と提案されました。「子どもの交流」という未来を見据えた考えに、賛同の意を表しました。

パラナヴァイ市教育局のアパリシーダ局長とも再会しました。局長から「あなた専属の担当者を着けました。思う存分活動してください。」と心強い話をいただきました。



市長とカフェ



地元紙の市長表敬訪問の記事



アパリシーダ教育局長

「作品をありがとう！」～児童の作品交流校訪問～

一昨年度より始まった児童の作品交流。豊橋市内の3小学校とパラナヴァイ市内の3初等学校が、お互いの児童作品を送り、それぞれ鑑賞しながら日伯友好を深めようというものです。

昨年度末、豊橋市内の3小学校よりいただいた交流作品が無事に届いていたか確かめるために、パラナヴァイ市内の3初等学校を訪問しました。

各初等学校とも、作品を掲示した後に大切に保管してくれました。私が訪問した時は、再び作品を出して、下の写真のように作品を持って写真に納まってくれました。

豊橋市内の3小学校には、今年もお手数をおかけしますが、交流作品を豊橋市教育委員会までお送りくださいますよう、お願い申し上げます。その後、パラナヴァイ市滞在中の私のもとへ届くので、今年私が責任を持って各初等学校へ渡し、下のような写真を再びお届けします。



岩西小学校と作品交流しているカイーキ初等学校にて



多米小学校と作品交流しているダッシア初等学校にて



岩田小学校と作品交流しているノエミア初等学校にて

ロベルト酒井の「こんな時どうスルー？」

前号は「歩行者の信号無視が多いブラジルで、私はどうしているのでしょうか？」という問題でしたが、答えは「① 信号を守る」です。当然といえば当然ですが、つまらない信号無視で事故に遭ったら、私一人の問題でなく、豊橋市や教育委員会に迷惑がかかるからです！（優等生の答えですね）

しかし、ブラジルの交差点は歩行者用信号の時間が短いと思います。だから、急いでいる方は、仕方なく信号無視をしていると感じます。また、歩行者用信号がない交差点も多く、自動車の信号と車の流れを見て、自分の判断で安全に横断しなければならない習慣も関係しているでしょう。

それでは第19問。ブラジルに3ヶ月以上滞在する場合は、連邦警察(日本の警察庁)に外国人登録をしなければなりません。私はちょうど3ヶ月滞在するので、登録の対象者です。しかし、登録できる連邦警察事務所がパラナヴァイ市になく、80km 離れたマリンガ市に行かなければなりません。そこで問題です。私は、どうやってマリンガ市へ移動したでしょう？

- ① パラナヴァイ市長に直接頼んで、公用車で送迎してもらった
- ② バスで移動した
- ③ 通訳の方の自家用車で移動した

答えは次号で！



歩行者用信号のない「六差路」